

平成29年度いばらき生産性向上人材育成スクール実施要項

1 目的

公益財団法人茨城県中小企業振興公社（以下「公社」という。）は、県内中小企業の実産性を向上させるため、生産管理などの体系的な知識と現場改善を指導する方法を総合的に学習するいばらき生産性向上人材育成スクール（以下「スクール」という。）を開設し、中小企業の実産現場の改善を担う中核人材の育成を推進する。

2 開講期間

平成29年9月15日（金）～11月18日（土）

金曜日・土曜日の計17日間（講義9日間、現場実習8日間）

3 開講場所

茨城県産業会館2階 研修室（水戸市桜川2-2-35）

4 定員

25名程度

5 課程

本講座の課程は、別紙のとおりとする。ただし、講師の都合等により、これを変更する場合がある。

6 受講対象者

本講座の受講生は、次のいずれかの者とする。ただし、（2）については、スクール修了後、公社のテクノエキスパートとして、県内中小企業の支援活動を行うことも条件とする。

（1）中小企業の現役社員

県内に事業所を有する中小企業の製造現場リーダー又はその候補者で、原則として10年程度の現場経験がある者

（2）県内の大手、中堅製造業で豊富な現場経験を有する企業OB（以下「企業OB」という。）

7 受講料

（1）中小企業の現役社員

1名当たり25万円（消費税込）

（2）企業OB

1名当たり10万円（消費税込）

8 受講申込

様式1又は様式2で公社へ提出することとする。

9 修了の認定

- (1) 開講日数17日間の8割(14日)以上をもって修了を認定する。
- (2) 修了者には、いばらき生産性向上人材育成スクール修了証書を交付する。

10 その他

この要項に定めのないことは、公社理事長が定める。

付 則

この要項は、平成29年4月3日から施行する。

平成29年度スクールに係るカリキュラム及び講師

実施日		9:30	12:30	13:30	17:30	備考	
1日目	9月15日	金	開講式 (各自己紹介)	●ものづくりの基礎概念 講師:本堂校長	●競争力と企業のパフォーマンス, コストと生産性 講師:本堂校長	懇親会①	
2日目	9月16日	土	●納期・工程・在庫管理 講師:本堂校長		●コミュニケーションの基本 講師:渡辺講師(株)EMMY代表取締役)		
3日目	9月22日	金	●品質管理・フレキシビリティ 講師:本堂校長		●現場から見た原価管理と利益 講師:本堂校長		
—	9月23日	土	祝日				
4日目	9月29日	金	●マーケティングの基本 講師:宮田講師(株)ハンプティ 代表取締役)		●調達管理・設備管理・人事管理 講師:本堂校長		
5日目	9月30日	土	●現場から見た「よい設計」・コンカレント製品開発 講師:本堂校長		●教育と連携で会社を変える! 講師:川端講師(MDファクトリーHS(株)代表取締役)		
6日目	10月6日	金	●目で見える管理 講師:国谷講師		●現場改善の進め方 講師:国谷講師	懇親会②	
7日目	10月7日	土	●「IE」について 講師:堀井講師		●「5s」について 講師:堀井講師		
8日目	10月13日	金	●現場実習の手順 講師:国谷講師	●打合せ <各チーム>	●現場実習先視察 <各チーム>		
9日目	10月14日	土	●「よい設計・よい流れ」による価値創造 ●よろず支援拠点事業の概要 講師:本堂校長		●ものづくり管理会計 講師:終 紫乃講師(山形大学准教授)		
10日目	10月20日	金	●現場実習<各チーム>				
11日目	10月21日	土	●チームディスカッション<各チーム>				
12日目	10月27日	金	●現場実習<各チーム>				
13日目	10月28日	土	●チームディスカッション<各チーム>				懇親会③
—	11月3日	金	祝日				
—	11月4日	土	休講				
14日目	11月10日	金	●現場実習<各チーム>				
15日目	11月11日	土	●チームディスカッション<各チーム>				
16日目	11月17日	金	●チーム成果発表(実習先)				
17日目	11月18日	土	●チーム成果発表(全体)			修了式	懇親会④ スクール 参観日

【様式 1 : 受講申込書 (現役社員用)】

平成 年 月 日

「いばらき生産性向上人材育成スクール」受講申込書 (現役社員用)

○第3期いばらき生産性向上人材育成スクールへ申込みます。

企業名 代表者					印
住 所	〒				
会社概要	資本金	千円	従業員数	名	
申 込 担当者	氏 名		TEL	— —	
	E-mail				

○派遣者名 (※記入欄は、文章量に合わせて広げてください。)

フリガナ					
氏 名	印				
自宅所在地	(例：水戸市桜川) ※番地は不要				
性 別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性	生年月日	年 月 日 (歳)	
所属・役職					
職場 TEL	— —	携帯電話 (本人)	— —		
E-mail					
職 歴					

○貴社における人材育成，技能伝承，ものづくり教育の現状・問題点・改善策について御記入ください。

(記入欄は，文章量に合わせて広げてください。)

貴社における人材育成，技能伝承について

ものづくり教育の現状・問題点・改善策について

※本申込書への記載事項については秘密を厳守し，いばらき生産性向上人材育成スクールの目的以外に利用することはありません。

【様式2：受講申込書（企業OB用）】

平成 年 月 日

「いばらき生産性向上人材育成スクール」受講申込書（企業OB用）

○第3期いばらき生産性向上人材育成スクールへ申込みます。
 （記入欄は、文章量に合わせて広げてください。）

フリガナ			
氏名	印		
自宅所在地	<i>(例：水戸市桜川) ※番地は不要</i>		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	生年月日	昭和 年 月 日(歳)
企業名・役職 ※会社経営者のみ記載			
職場TEL ※会社経営者のみ記載	— —	携帯電話 (本人)	— —
E-mail			
職歴			

○貴殿のこれまでの経験から、中小企業における人材育成，技能伝承，ものづくり教育の現状・問題点・改善策について御記入ください。

(記入欄は，文章量に合わせて広げてください。)

1 中小企業における人材育成，技能伝承について

2 ものづくり教育の現状・問題点・改善策について

※本申込書への記載事項については秘密を厳守し，いばらき生産性向上人材育成スクールの目的以外に利用することはありません。